

連絡先 研究開発本部 知的財産管理課 植田

電話 044-822-5487

Mail kenji_ueda@mitutoyo.co.jp

URL <http://www.mitutoyo.co.jp>

保有シーズの特徴

基礎研究部門、商品開発部門、製造現場から生み出される技術で、比較的商品化に取り組み易い技術を中心に、ライセンス可能なシーズとして約50件を選出しております。毎年5件程度のペースで入れ替えしていく予定です。なお、弊社のライセンスポリシーとして競合他社(製品)へのライセンスは原則行いません。

保有シーズの領域

弊社の保有シーズの領域は、機械加工の製造技術、電気・電子、光学、計測・センサー、試験機器、ソフトウェアなど、多岐にわたります。

社長メッセージ

Mitutoyo



信頼のブランドであり続けるために。

ミットヨは1934年の創業以来「測ること」と向き合い続けてきました。
精密測定は、何よりも信頼性がすべてです。
だからこそ、当社の商品は常に品質を第一に考え、「精密測定で社会に貢献する」ことを経営理念に掲げ、いつの時代もひたすらそのポリシーを徹底し、おかげさまで数多くの現場でご愛用いただいております。

世界中のお客様から「測定のミットヨ」としてご評価いただけているということ。
測定に関してお困りの際に、ミットヨを想起いただけるということ。

その事実は、私たちにとって言うまでもなく無上の喜びです。

2034年に迎える100周年に向けて「ミットヨVision100」をスタートしました。
これからのミットヨは自らの手で「これまでのミットヨ」のイメージを塗り変え、お客様の期待を超える存在、「未来を提案するソリューションカンパニー」を目指します。

「こんな問題までミットヨに相談できるとは思ってもみなかった」
そんな驚きと感動を、これからのミットヨは提案していきたいと考えます。

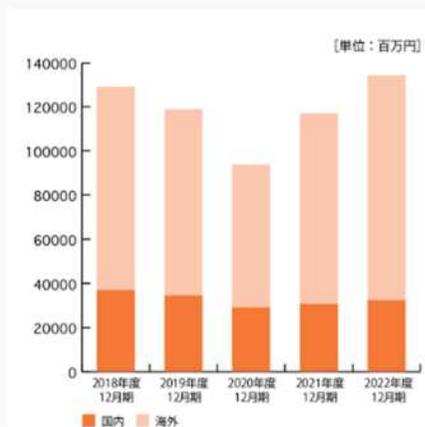
ミットヨは変わり続けます。
自ら新しい変化を生み出し、お客様へ次の価値を提案していきます。
新しいミットヨにご期待いただければ幸いです。

代表取締役社長 沼田 恵明

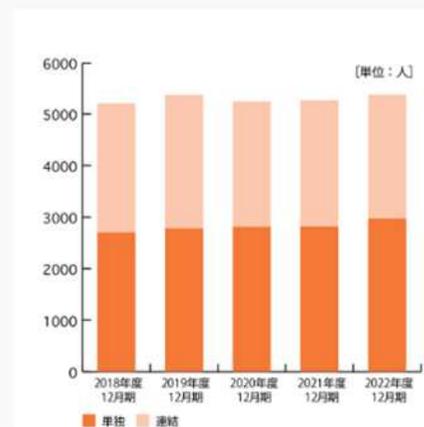
企業データ(2022年12月現在)

商号	株式会社 ミットヨ (Mitutoyo Corporation)
本社所在地	〒213-8533 神奈川県川崎市高津区坂戸1-20-1
創立	1934年(昭和9年)10月22日
資本金	391百万円
自己資本	単独 159,754百万円(自己資本比率81.9%) 連結 221,528百万円(自己資本比率79.2%)
単独売上高	84,476百万円
連結売上高	134,445百万円 連結対象: 日本5社、欧州19社、アジア13社、北米・中南米7社(計44社)
事業内容	精密測定機器の製造・販売
従業員数	単独 2,971名 / 連結 5,374名
代表取締役社長	沼田 恵明
主要取引銀行	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行 横浜銀行
適格請求書発行事業者登録番号	T7020001067105

連結売上



従業員数



ミットヨのものづくりを支える“生命線”

世界トップレベルの研究開発施設と、先進的な生産設備を備えた自社工場、そして豊かな知識と経験をもつ技術者たちによって、ミットヨの実力は支えられています。

川崎工場



ミットヨ本社に併設された川崎工場は、1940年に設立された歴史ある生産拠点であり、画像測定機、対物レンズ・光学機器、レーザスキャンマイクロメータ、精密センサなど数多くの製品を生産しています。また、同敷地内には開発拠点もあり、新製品のパイロット工場としての役割も有しています。



広島地区 呉工場/志和工場/柳原工場



瀬戸内海を望む、広島県呉市を中心とした3つの拠点で事業展開。呉工場（光学測定機や接触・非接触の形状測定機など）、志和工場（マイクロメータの一貫生産）、柳原工場（精密測定品の素材供給）から構成され、世界へミットヨの技術を提供しています。



宇都宮地区 測器工場/MC工場/清原工場



宇都宮市で1944年に操業を開始し、下妻地区（10万㎡）で測器工場（ノギス、ハイトゲージ）、MC工場（三次元測定機、大形画像測定機）が稼働しています。2020年には「M² Solution Center UTSUNOMIYA & Calibration Lab」を新たに併設し、ものづくり現場との連携によるソリューション提案拠点となっています。また、11年離れた清原工業団地の一画（3.4万㎡）で1982年から清原工場（リニヤスケール、電装モジュール）が重要部品工場として稼働しています。



中津川工場



ダイヤルゲージ、テストインジケータ、プジマチックインジケータ等のインジケータ類の専門工場として、岐阜県中津川市で1997年より操業開始。自動車や工作機械の生産が盛んな中部地区で、「お客様に近しい」という理念を込め、最高級かつ高品質な測定機を生産しています。

宮崎工場



ゲージブロック等基準品の専門工場として、宮崎市田野町で1985年より操業開始。ゲージブロックに要求されるナノメートルの精度を実現するため、地下精舎測定室に自社製光波干渉計を設置。世界トップレベルの品質を誇る工場です。

研究開発本部

ミットヨでは、ワールドワイドな協力体制の下、各開発拠点の高度な専門性を駆使してお客様の問題解決に貢献する先進技術開発と新製品開発を行っています。研究開発本部はグローバル開発体制の中心的拠点として位置づけられており、計測部品開発部、機械部品開発部、測器開発部、ソフトウェア開発部、デバイス技術開発部、計測技術開発部、工業デザイナー室、開発管理課で構成されています。

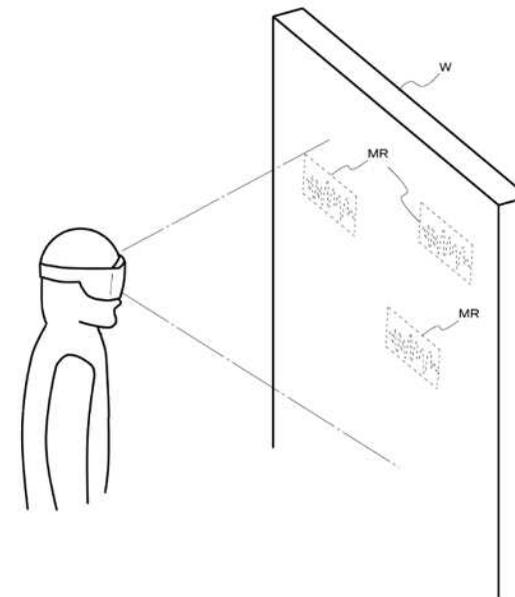


①シーズ名：「音響測定装置」

利用シーン(展開可能分野)

特許第7295732号

音(打音、異動作動音等)を利用して、コンクリート材やアスファルト等の構造物の検査、屋外、屋内を含む空間(工場、オフィス等)で発生する異音をGNSSで座標位置を特定したヘッドマウントディスプレイで3D可視化して検査をやりやすくするための音響測定装置。



発明の効果 (新規性・優位性)

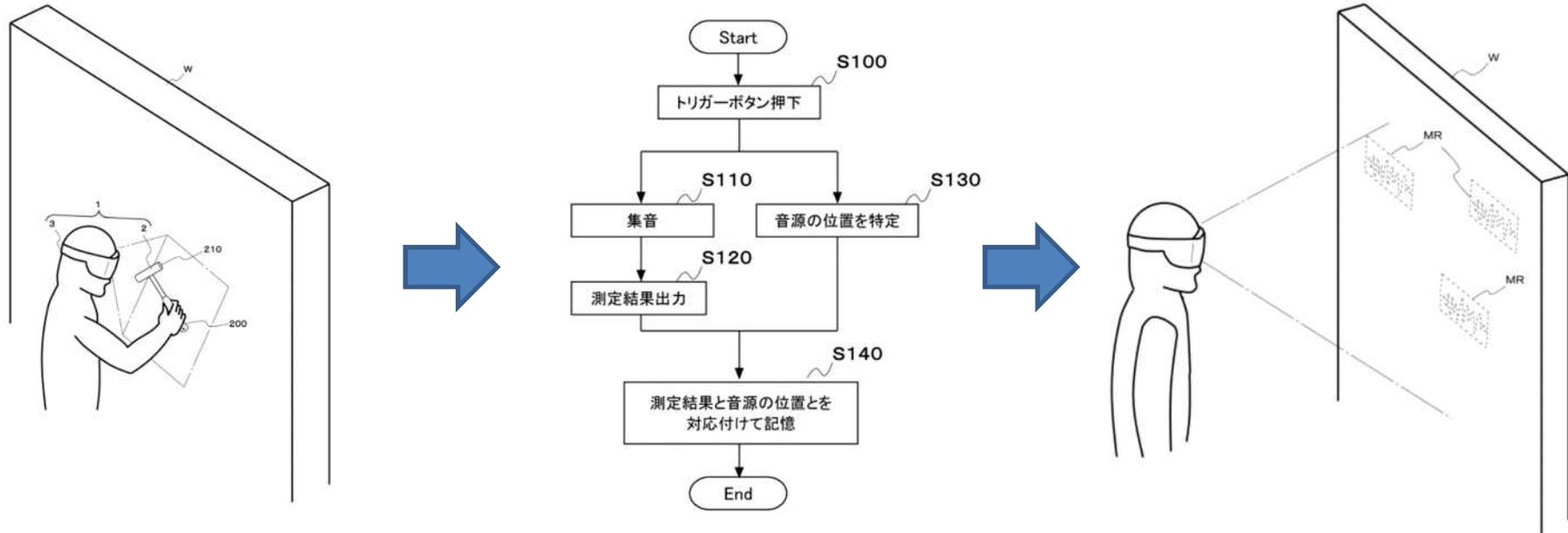
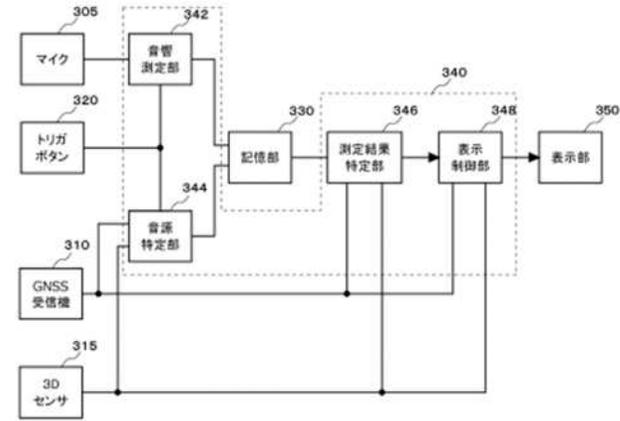
異音発生個所を3D可視化できるので、構造物の検査が容易になる。

想定するライセンサー像 (保有技術や事業領域)

音を利用したコンクリート材やアスファルト等の構造物、特にビルや路面、橋の定期検査に適している。



写真の出展: <https://www.gizmodo.jp/2023/10/apple-vision-pro-cheap-edition.html>
 Apple Vision ProなどのARグラスの利用を想定した特許



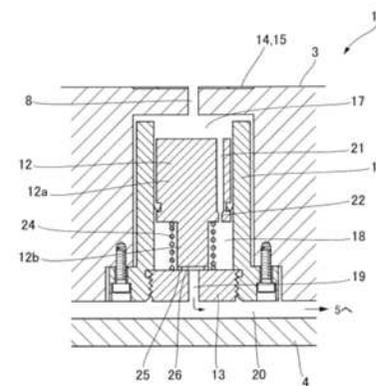
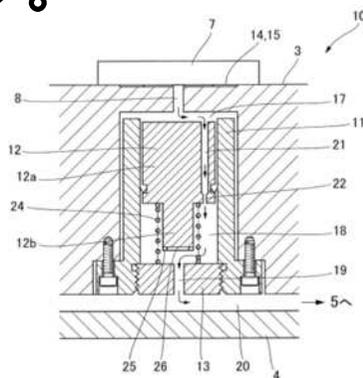
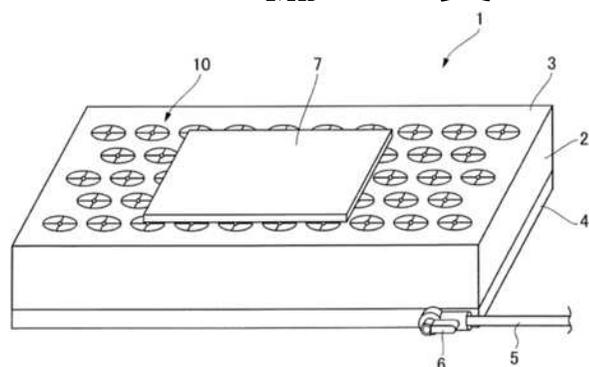
マンションなどにおけるタイル、コンクリート、塗装、モルタル、などの打診検査の効率化

②シリーズ名：「オートバルブを備えた真空チャック」

利用シーン(展開可能分野)

特許第6811206号

研削盤等で使用される真空チャックにおいて、ワークによって塞がれていない開口からエアを吸い込まないようにバルブが自動で閉じるオートバルブを備えた真空チャック。



発明の効果

(新規性・優位性)

従来の真空チャックにおけるマスキングや水撒きが不要。単純な構造で分解掃除も簡単。

想定するライセンシー像

(保有技術や事業領域)

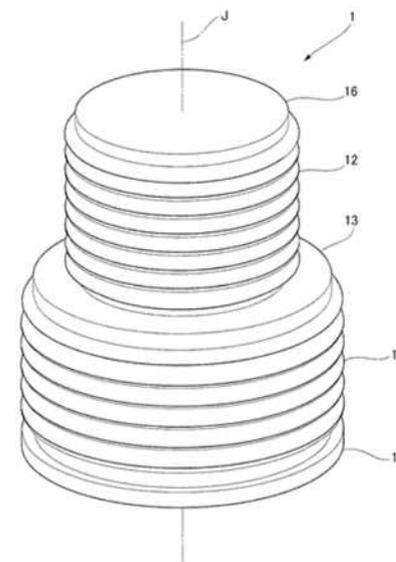
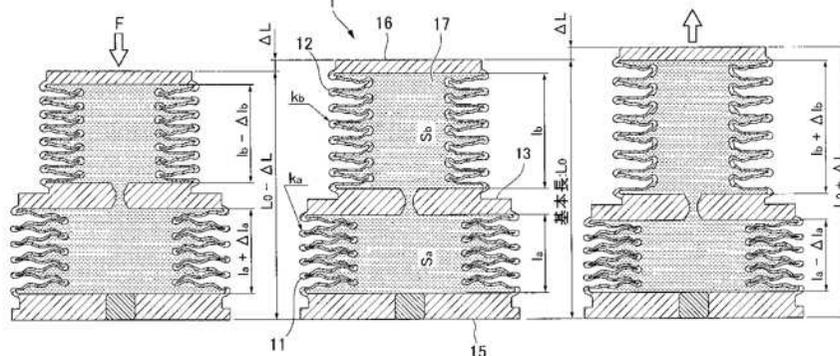
金属機械加工技術を有しているメーカー。真空チャックメーカーとして新規参入。

③ シーズ名：「ベローズ式ダンパ」

利用シーン(展開可能分野)

特許第7128027号

密閉された内部に流体が満たされた径の異なる2つのベローズが、中間のプレートに開けられたオリフィスを介して、内部の流体が移動可能に接続されているベローズ式ダンパ。



発明の効果

(新規性・優位性)

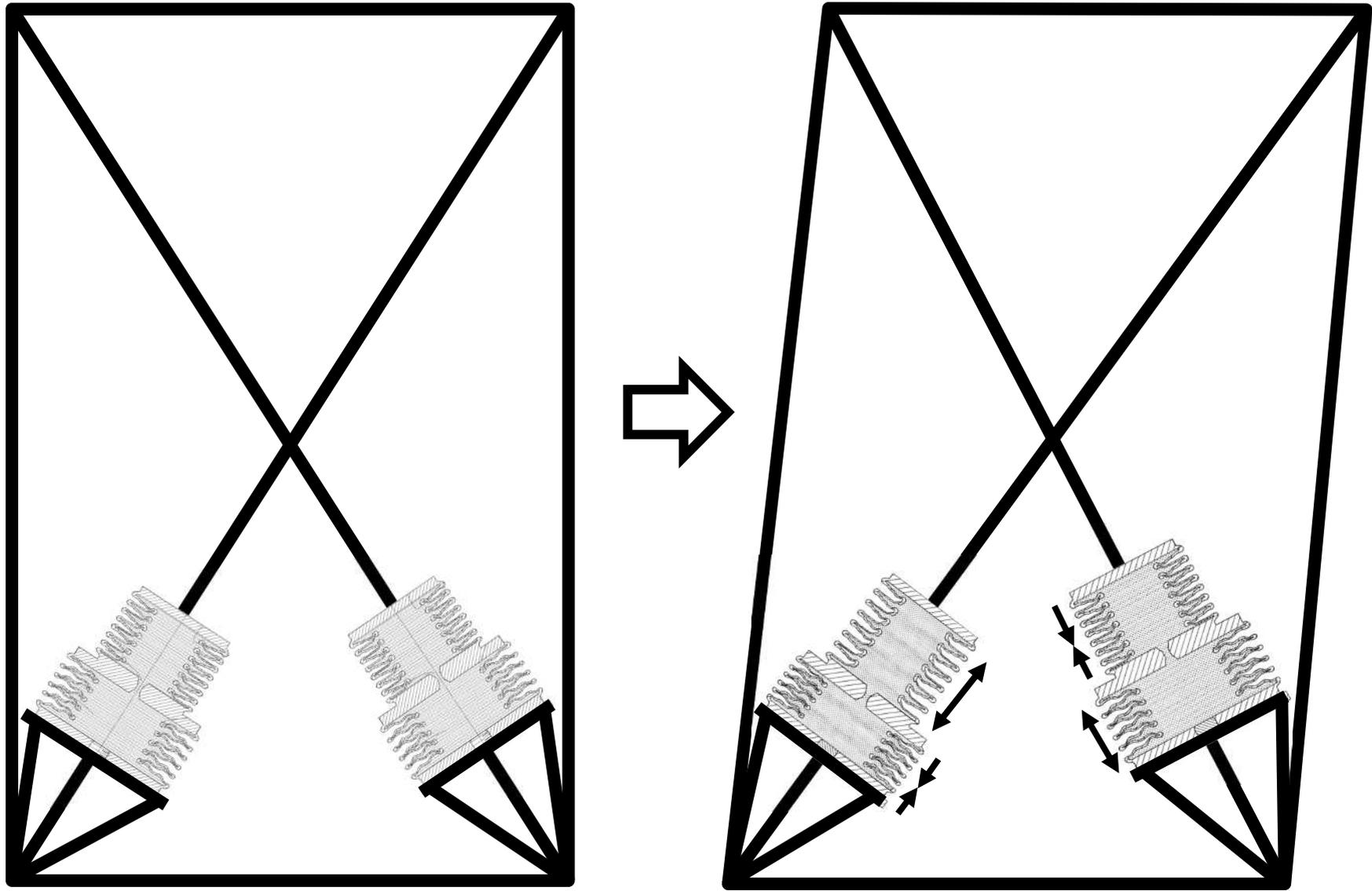
小型で簡単な構造で、対象部材の振動を減衰させることが可能。従来のピストン方式で発生した液漏れや摺動摩擦が発生しない。

想定するライセンサー像

(保有技術や事業領域)

精密測定機器、半導体製造装置、その他の精密機器における精密位置決め時の振動減衰に適用可能。

筋交いダンパーへの適用

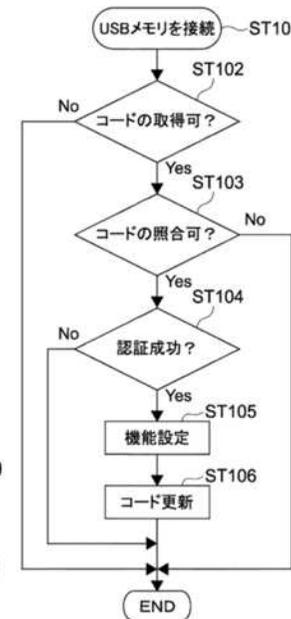
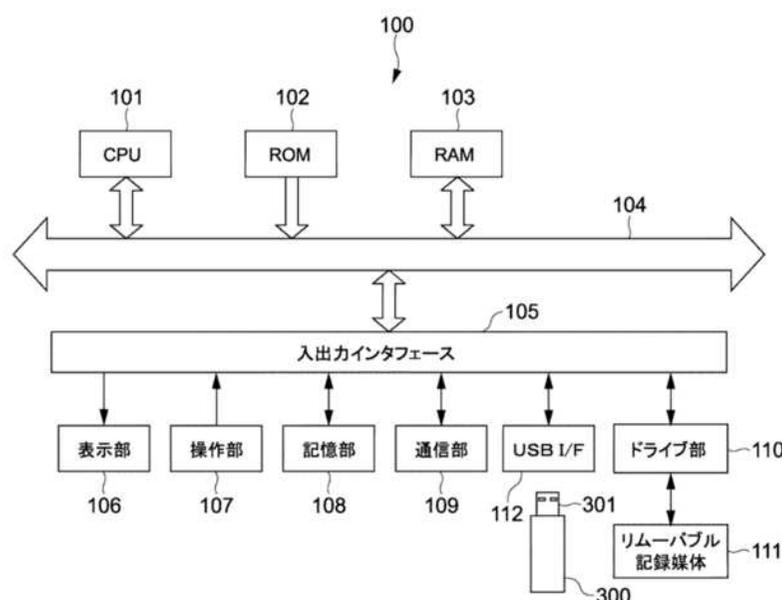


④ シーズ名：「情報処理装置の認証装置」

利用シーン(展開可能分野)

特許第6208492号

PC等における、USBメモリを鍵のように使った認証システム。IDやパスワードを覚える必要がなく、PC等に刺して認証成功する度に認証コードが更新されるので、高いセキュリティを確保できる。



発明の効果

(新規性・優位性)

物理的な鍵と同じように簡単に扱える。マスターキーを使って、鍵を追加・削除等の管理ができる。JP, US, CNで特許登録済み。

想定するライセンシー像

(保有技術や事業領域)

業務用アプリケーションに適用。



⑤シリーズ名：「基準器(直定規、または、四直角マスダ)」

特許第5184046号

利用シーン(展開可能分野)

機械加工されたワークの仕上げ精度や、三次元測定機や工作機械等の幾何運動精度の確認、校正に用いられる直定規、または、四直角マスダと呼ばれる基準器。

セラミックス製 超精密直定規(L=1000mm)



真直度:0.1 μ m以下
(評価長1000mm)

発明の効果

(新規性・優位性)

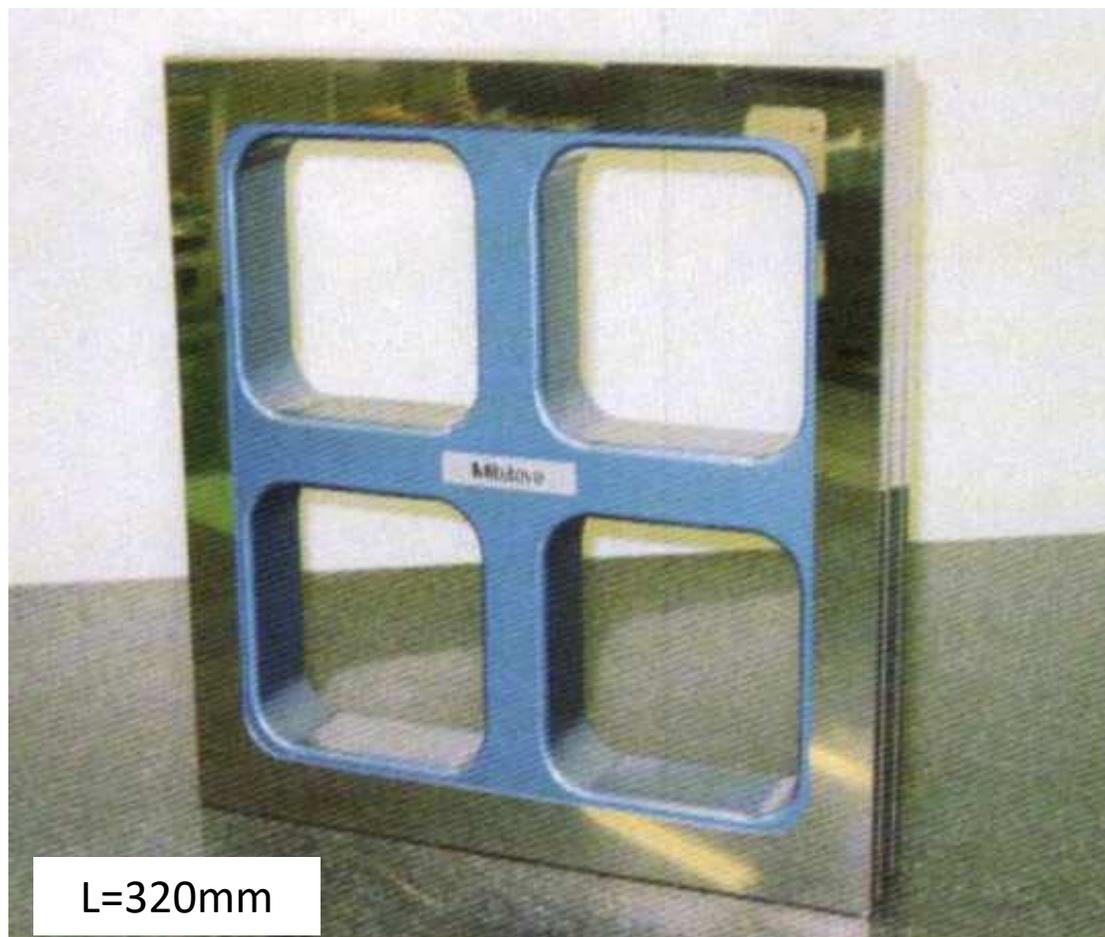
基準となる面の両側に溝部を備えることで、従来よりも効率的、かつ、高精度に基準面を仕上げることが可能。

想定するライセンサー像

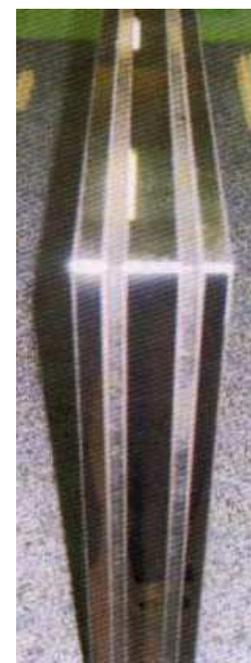
(保有技術や事業領域)

高精度な機械加工技術、特にラップ仕上げ技術を有するメーカー。直定規、または、四直角マスダを製造して自社内で使用または販売。

超精密四直角マス



真直度: $0.1\mu\text{m}$
直角度: $0.1\mu\text{m}$
(評価長300mm)



溝有り

超精密直定規(真直度 $1\mu\text{m}$ 以下)

